

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名: Ozaki procedure の長期術後成績』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 心臓血管外科 職位・氏名 教授・尾崎重之

【研究の目的】

大動脈弁疾患に対する新しい手術法として我々が考案した「自己心膜を使用した大動脈弁再建術」(尾崎手術、Ozaki procedure)は 2007 年 4 月より当院で継続的に施行されています。2015 年末までの成績で長期フォローアップにおける再手術回避率は 91.6 %であり、従来の大動脈弁置換術と比較しても良好な結果が出ています。これまで米国クリーブランドクリニック心臓血管外科とは尾崎手術と人工弁大動脈弁置換術の比較試験を行うなど協力関係にありました。今回尾崎手術術後の患者さまの長い期間での経過をクリーブランドクリニックと共同で検討するため、当院での情報は個人が特定できないように氏名や生年月日などを削除し、別の符号を付加した個人情報としたのち提供する予定です。尾崎手術術後の臨床経過を立証するのが本試験の目的です。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院の倫理委員会の承認を得て実施するものです。対象者:2007 年 1 月～2022 年 7 月までに東邦大学医療センター大橋病院で大動脈弁再建術を受けた患者様約 1200 人を対象とし、診療情報、予後データ等を集積し解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

診療録に記録された背景情報(年齢、性別など)、病歴、診療の治療歴、追跡情報(死亡、再入院、など)、画像情報(心臓超音波)など

【研究組織】

代表機関名:東邦大学医療センター大橋病院 研究代表医師:尾崎重之 役職:教授

共同研究機関:米国クリーブランドクリニック 研究代表者:Shinya Unai 役職:staff

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は(代諾者が承諾されない場合も)、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 心臓血管外科

職位・氏名 教授・尾崎重之

電話 03-3468-1251